

平成 20 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ハーバー研究所
 代表者名 代表取締役社長 小柳 昌之
 (JASDAQ・コード番号 4925)
 問合せ先 取締役 総務部・経理部担当ディレクター
 鍋 島 厚
 電 話 (03)5219-5660

平成 20 年 3 月期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 20 年 2 月 25 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の当社業績予想(連結・個別)から差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

1. 平成 20 年 3 月期業績(連結・単体)予想数値との差異(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	11,030	720	685	340
今回修正予想(B)	11,042	681	643	299
増減額(B-A)	+12	38	41	40
増減率(%)	+0.1%	5.3%	6.0%	11.8%
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	11,028	1,162	1,139	610

(2) 単体業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,340	40	80	30
今回修正予想(B)	5,342	90	142	52
増減額(B-A)	+2	+50	+62	+22
増減率(%)	+0.0%	+127.1%	+77.9%	+75.6%
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	5,398	397	445	176

2. 業績予想との差異の理由

(1) 連結業績予想との差異の理由

売上高につきましては、期末に限定品を発売するなどの施策を行った結果、業績予想を 12 百万円(増減率+0.1%)上回りましたが、営業利益、経常利益および当期純利益につきましては、原材料の値上げなどによる原価の上昇とポイント引当など販売管理費の増加により、前回修正時点における予想数値を若干下回りました。

(2) 個別業績予想との差異の理由

売上高につきましては、連結業績と同様の理由から、業績予想を 2 百万円(増減率+0.0%)上回りました。利益につきましても、連結業績と同じく原価の上昇はありましたが、期末にかけて単体での広告宣伝や一般経費を抑制的に運用した結果、販売管理費をかなり抑えることが出来、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回修正時点における予想数値をそれぞれ上回りました。

以 上